

# 熊本学（阿蘇）コース

## 九州の水がめ「阿蘇」 ～阿蘇が育む水と人々の暮らし～

「九州の水がめ」と言われる阿蘇。阿蘇の草原で生み出された清涼な水は、九州の人口の約6分の1に当たる約225万人の住民の生活用水や農業用水となっています。豊富な地下水はどのようにして生まれるのか、未来に繋ぐために必要なことは何か。本講座では、世界に誇る景勝地阿蘇を「水」をテーマに見つめ直しました。

### 第1回

#### 九州の水がめ「阿蘇」

10月11日(金)

～多くの水を生み出すわけ～

(公財)阿蘇火山博物館

学術顧問 池辺 伸一郎 氏

①九州における「阿蘇」の位置づけ②阿蘇火山の生い立ち③「阿蘇」の地形と地質の特徴④豊富でおいしい水を生み出すわけ⑤阿蘇火山と水循環。

九州中部や熊本の水の質と量を支えるのは、周辺の地形や地層を形成する阿蘇火山の役割が非常に大きい、と説かれました。



### 第2回

#### 世界農業遺産 阿蘇の魅力

10月18日(金)

～草原が育む自然と暮らし～

東海大学農学部

教授・農学科長 阿部 淳 氏

①阿蘇の自然（草原の四季、阿蘇のあか牛、植物、昆虫）②阿蘇の暮らしと文化（草原と豊かな水が育んできた文化）③阿蘇の草原と水を守る（熊本市の水の源、災害復興と水、地下水を守るには）。

畜産農家の四季を追った写真など、多彩な資料とともに解説。熊本地震の教訓も。



### 第3回

#### 阿蘇水探訪

10月25日(金)

～水基巡りで熊本の地下水を学ぶ～

阿蘇ジオパークガイド協会

児玉 史郎 氏

「水基」とは…にはじまり①宮地の湧水と地下水②水基めぐりの見どころ③地下水利用にみるSDGs（持続可能な開発目標）の姿、地下水の行方。

「阿蘇の門前町 水基巡り」リーフレットなどの資料も使い、阿蘇の文化を水が作った背景を解説されました。



### 第4回

#### 農業が守る阿蘇の風景と自然

11月1日(金)

～その恵みと変化～

(公財)阿蘇グリーンストック

専務理事 増井 大樹 氏

「阿蘇の草原の恵み」について①草原とは？②日本の草原の現状③阿蘇の草原の歴史・現状④草原の恵み⑤阿蘇の草原の課題。

火入れ（野焼き）、放牧、採草といった人間活動が継続的に行われることによって、樹林にならず草原が維持されてきたことから、継続の大切さを説かれました。



### 第5回

#### 豊かな水をこれからも

11月8日(金)

～人々の生活を支える阿蘇の水～

元熊本県地下水保全アドバイザー

田中 伸廣 氏

①なぜ、阿蘇山の周辺は地下水が豊富か？②熊本地域の地下水の実態は？③地下水の特徴と役に立つ地域資源④地下水保全の取組みー地域協働で。

涵養域の保全（量・質とも）、地下水質の保全、地下水保全の協働の取り組みの大切さを、お話しされました。



▲第1回の様子。砥川溶岩（益城）、阿蘇4火砕流 強溶結（竹田）、阿蘇4火砕流非溶結（益城）、阿蘇4火山灰（北海道小清水町）を、実際に見て触れることができました。



▲時にはメモをとりながら、熱心に耳を傾ける受講生の様子。県民カレッジ初参加の方も、阿蘇となじみ深い方も、5講座をおし学びを深めました。

## 受講生の感想

- 週に1回バスに乗って出掛けることで張り合いができたようです。学ぶ楽しさも実感しました。
- 現在野焼きボランティアをしています。体系的に、水と草原の関係が理解できました。
- 各方面の先生方からお聞きしたお話をもとに、産業の発展が自然と共存出来るよう私たちも何か出来ることはないかと、今後も注目していきたいと思いました。
- 今回の講座は大変充実していて毎回感動しました。資料がきちんとしていて見返すことができます。動画配信も楽しみにしています。

